

進む路



☆ 1学期の懇談にむけて ☆

期末テストや阪南大学高校の体験も終わって、次は1学期の懇談があります。いよいよみなさんが進路に向けて本腰を入れる時期に入ってきました。6月末に第1回進路希望調査を提出してもらいましたが、提出期限をきちんと守ることができたでしょうか？しっかりと保護者と話し合えていますか？

進路希望調査の中身として、「具体的な学校名とコース名」を書いてきてくれた人もいれば、「学校名」のみや「そもそもどんな高校があるかわからない」と書いてきている人もいました。

今回の1学期の懇談は、進路希望をもとに話を進めるのですが、けっして、今回の懇談で高校を決定するわけではありません。今回は、下の項目をもとに「高校等をどう考えていて、どういった高校等を探していくのか」が重要になってきます。まずは優先順位をつけてみましょう。

【あなたが高校等への進学を考えるとときに、優先順位は？1～5番くらいまでつけてみましょう。】

☐ 男子校・女子校・共学校	☐ 公立・私立・専門学校など	☐ クラブ活動
☐ 校風・教育方針	☐ 普通科・専門学科・総合学科など	☐ 校則について
☐ 通学方法や通学時間	☐ 学べる学習内容・留学など	☐ 学費
☐ 制服のある・なし	☐ 高校で取得できる資格(卒業資格以外)	☐ 学校の施設・設備
☐ 大学・専門学校等の進学率	☐ 修学旅行・文化祭など学習内容以外のこと	☐ その他()

例えば、「自転車で通いたい！電車で乗りたくない！」なら「通学方法や通学時間」が1番になります。「クラブをがんばりたい！」なら「クラブ活動」が1番になります。また、「共学校じゃないほうが…」が1番なら「公立高校」は選択肢から外れます。(公立高校は共学校しかありません)

懇談に向けて、この話を保護者の方としっかりしておいてください。自分の考える優先順位と保護者が考える優先順位がばっちり合っているなら、とても素晴らしいことですが、なかなか一致することは難しいのが現実です。「自分の考えと保護者の考え」をしっかりと分かったうえで、懇談にのぞんでください。

どうしても考えが合わないとき、「どちらがどこまで譲れるか」が、今回の懇談で考えることができたらいとおもいます。



保護者のみなさまへ 進路希望調査に記入してくださった質問とその答え

Q. 本人の偏差値を知りたいです。また、その偏差値で行ける高校を教えてください。

A. 文科省や大阪府教育庁から「偏差値などによる進路指導は行わないように。」という指示により、どの中学校も偏差値を算出していません。高校も自分の高校の偏差値を算出することはありません。ネットにある高校の偏差値もページによりまちまちで信ぴょう性がある数字ではありません。今回の懇談は、あくまで「本人と保護者の考え」を話す場ですので、しっかりとご家庭で相談して懇談に臨んでほしいです。

Q. 本人にあっている高校を教えてください。

A. 「本人にあっている」というものは、見る人の視点により変わります。保護者から見て、先生から見て、まったく違う視点になります。「まずは、本人の意向」をしっかりと聞き、それをもとに高校を探してみてください。ヒントとして、進路通信NO. 4 の「過去に松原六中生が受験した市内の学校」を参考にすこしでも興味のある高校を3つほど絞り、説明会や見学会に参加してください。体験に参加することで本人の希望が見えてくるはずです。